



ハクジも同じように、大きな心と立ち直りを持った頑固な性格を持っていました。彼は自分の幸福よりも他人を大切に、「空虚な言葉と約束に満ちた」人生を送っている自分を憎んでいます。鬼となって人間としての記憶を失った後も、ハクジの記憶の一部はアカザの決断に影響を与える。彼は、女性をむさぼり食えば自分が強くなれるとわかっていても、それを拒否します。